

平成27年度事業ならびに活動計画

特定非営利活動法人 安全工学会

1. 事業活動方針

産業に係わる安全の諸問題を広く工学的に調査・研究し、各種災害の防止のための知識・技術の向上及び普及を図るため、特に、安全及び安全教育にかかわる議論を活発に行い、普及活動に注力する。

「保安力向上センター」は保安力評価システムを普及させる為、センター評価の推進、及び評価システムの拡充、保安力向上に関わる技術者の養成、保安情報の共有化に注力する。

維持・賛助会員の安全に資する活動を強化する。

2. 事業内容 特定非営利活動に係る事業

2.1 安全工学に関する研究・教育事業

①安全工学に関する研究

学術委員会を中心に安全及び安全教育に関し検討を進める。

②安全工学研究発表会

安全工学研究成果の発表会を主催する。

開催月日：平成27年12月3,4日

開催場所：新潟朱鷺メッセ

参加予定者：250名（延べ）

③研究・教育事業管理

対象委員会・研究会

学術委員会	3-4回
安全工学研究発表実行委員会	2回
医療安全研究会	6回
廃棄物安全研究会	2回
次世代安全研究会	4回
プロセスケミストリー標準モデルWG	4回

2.2 安全工学に関する普及啓発事業

2.2.1 一般普及事業

（1）会誌発行 “安全工学”

発行回数 年6回

（2）講習会・セミナー

①第37回安全工学セミナー

物質危険性講座 平成27年9月

危険現象講座 平成27年10月

プラント安全講座 平成27年11月

安全マネジメント講座 平成 28 年 1 月
実施予定場所 化学会館会議室又は砂防会館会議室
参加募集人員 各回 30 人

②安全工学地域セミナー

開催月日 平成 28 年 1-3 月予定
実施予定場所 西日本地区（詳細未定）
参加募集人員 30 人

③安全管理の最新動向講習会

開催月日 平成 27 年 5 月 18 日（月）、19 日（火）
実施予定場所 化学会館
参加募集人員 30 人

④安全工学実験講座

開催月日 1 回 平成 27 年 6 月 1 日（月）、2 日（火）
実施予定場所 日本カーリット（株）
参加募集人員 20 人

⑤災害事例研究会

開催月日 2 回、半日/回、平成 27 年 7 月 18 日開催予定
平成 27 年 12 月開催予定

実施予定場所 化学会館
参加予定人員 各回 30 人

⑥地域・企業支援セミナー

日本全国の地域・企業への講師の派遣 4 件

⑦工場長懇談会の定期的開催

地域毎での工場長・環境安全部長との懇談会

⑧普及啓発事業管理

・対象委員会・研究会等

編集委員会 12 回

普及委員会 4 回

・会誌への広告募集管理

（３）図書販売・会誌の年間購読販売

法人事務所にて図書販売等を実施する。

2.2.2 普及啓発事業：保安力向上センター

我が国の現場力を高め、産業の安全性を向上させるためには、企業各社の安全レベルを自主的に評価し安全レベルの向上に努める事が必要で、各社の自主的な活動を支援する。各社の経験情報の共有を図ることにより日本産業界の安全レベルの向上に貢献する。

そのため、センター評価の推進、保安力評価システムの充実、保安力向上に係る技術者の養成並びに保安情報の共有化を推進する。

（１）保安力評価システムの普及

会員企業に対するセンター評価の実施、ならびにセンター評価

を希望する企業に対しての有償評価の実施。保安力評価システムの改善、他プロセスにおける評価システムの拡充を図る。又、統計処理システムの構築を図る。

(2) 保安力向上に係る技術者の養成

各種研修、自己評価、センター評価を通じ、保安力推進委員の力量向上を図る。自己評価員の養成、センター評価員の養成、保安技術者の育成支援を図る。

(3) 保安情報の共有化と啓発

センター評価の解析結果、参考事例の提供及び日化協、石化協など内外機関との連携を図る。

2.2.3 普及啓発事業：受託事業

経済産業省継続事業の可能性がある「平成 27 年度現場保安力維持向上基盤強化事業（現場保安力維持・向上に向けた調査・分析）」に対して対応するかどうかの検討を行う。受託事業管理委員会にて管理する。

2.3 安全工学に関する調査及び情報収集提供事業

維持会員、賛助会員の安全に資する活動に注力する。

ホームページを充実させ、会員への情報提供を推進する。会誌の電子化情報の具体的提供方法について検討を行う。

2.4 安全工学研究の奨励及び研究活動等の表彰

・学会賞授与 安全工学に貢献した優秀論文、功労者を表彰

対象：安全工学論文賞（1-2 件）、玉置功労賞（1-2 名）、北川学術賞（1-2 名）、奨励賞（1-2 名）

2.5 安全工学に関連する国内外の団体との連携及び協力

安全工学に関連する学協会に加入し、情報を得ると共に安全工学の発展のために協業を模索する。国際的には、APASES（Asia Pacific Association of Safety Engineering Societies, アジア太平洋安全工学学協会連合）に参加。

① 諸会費

（社）日本工学会、高圧ガス保安協会などに会員として加入

② 安全工学シンポジウム 2015（第 45 回）

開催月日：平成 27 年 7 月 2 日（木）、3 日（金）

開催場所：日本学術会議

主 催：日本学術会議

幹事学会：日本土木学会

共 催：安全工学会ほか 32 学協会

2.6 管理業務

- ①総会 1回開催
開催月日：平成 27 年 5 月 28 日（木）
開催場所：化学会館
- ②理事会 4回開催
開催月日：平成 27 年 5 月 14 日（木）
平成 27 年 7 月
平成 27 年 11 月
平成 28 年 3 月
- ③評議員会 1回開催
開催月日：平成 27 年 5 月 28 日（木）
- ④監事会 1回開催
開催月日：平成 27 年 4 月
- ⑤委員会
総務委員会 2回開催
企画委員会 4回開催
アドバイザリーボード 2回開催
- ⑥現場研修会 2回開催
開催日：平成 27 年 9 月予定、平成 28 年 3 月予定
見学先：未定
参加予定人員：安全工学会の会員 各回 30 名

以上